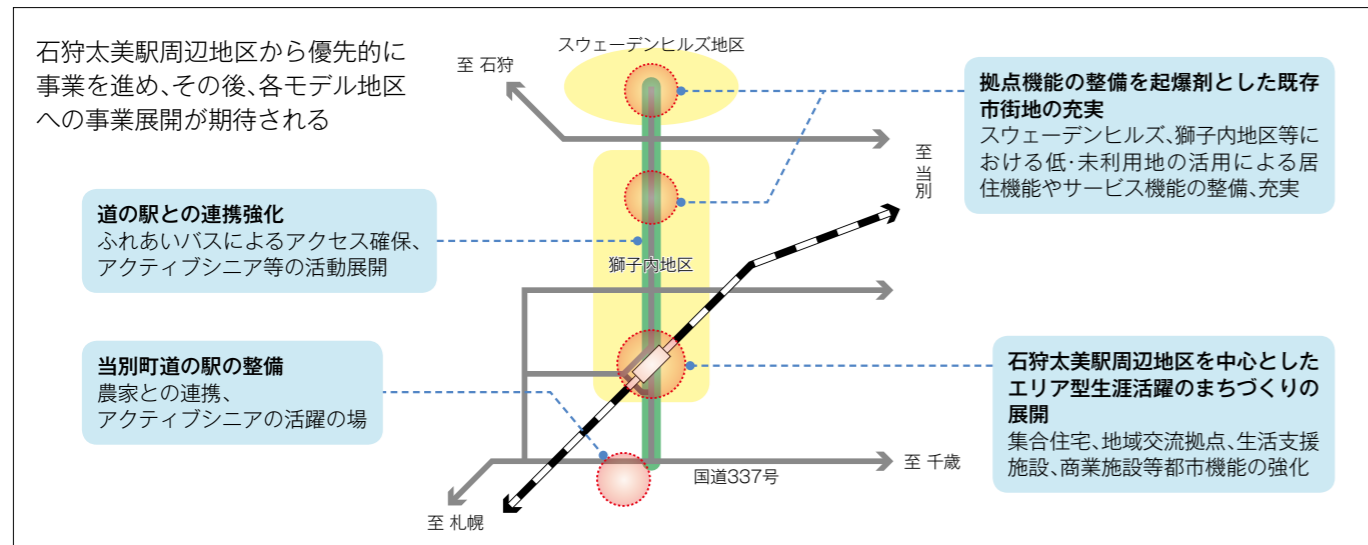


モデル地区と事業展開

モデル地区候補	特徴	整備イメージ
1. 石狩太美駅周辺地区	比較的生活利便施設が集約している。福祉施設や温泉施設が近傍にあり、未利用の町有地がある。	・サ高住、一般住宅の混合 ・医療や介護サービスの機能を持つ施設
2. 獅子内地区	未開発の住宅造成地が残り、戸建て住宅を整備しやすい。 住宅造成地のほかに、家庭菜園より少し大きなエリアで野菜等を育てながら生活することができる。	・家庭菜園付テラスハウスを中心とした街区 ・サ高住や一般住宅の混合
3. スウェーデンヒルズ地区	スウェーデンの北欧型建築の家が建ち並ぶ住宅地。道外からの移住者が多い。	・街区内での集合住宅（サ高住）

サ高住：サービス付き高齢者向け住宅



スケジュール（予定）

平成33年度中の運営開始を目標に、平成29年度より地域再生計画の立案、事業者（地域再生推進法人等）の決定等を進めていく。

アクションプラン	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)
町	基本構想の策定	●				
	基本計画の策定 (地域再生計画)		●			
	事業者の決定			●		
事業者	事業計画の策定			●		
	設計期間				●	
	建設期間					●
町&事業者	移住者のリクルート			●		
	運営開始					★

お問合せ

当別町企画部企画課 TEL: 0133-23-3198 (FAX: 23-3206)

事業についてより詳しくご説明します！



概要版

当別町生涯活躍のまちづくり基本構想

多世代共生・参加型のまちづくり

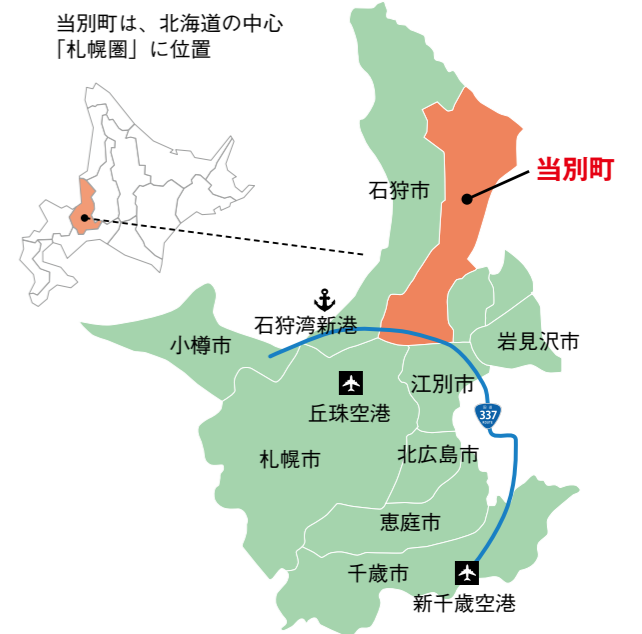


当別町の優位性

当別町は北海道最大の都市札幌市に隣接し、札幌中心部から車で約40分、JRでは約37分とアクセスに優れ、また、石狩湾新港と新千歳空港を結ぶ国道337号と、道北方面に通じる国道275号が交差する交通の要衝でもある。

当別町の田園風景がスウェーデンと大変よく似ていることから、スウェーデン王国レクサンド市と姉妹都市盟約を締結し、国際交流のまちとして友好を深めている。また、北欧の豊かな環境を感じさせる自然と町並みが調和した住宅地“スウェーデンヒルズ”に、道外からの移住者が増加している。

町内には医療系総合大学の「北海道医療大学」があり約3,500人の学生が学んでいる。さまざまな「福祉のまち」の取り組みを町民と共に行っている。



各都市からのアクセス

札幌中心部 ▶ 25 km ▶ 40分	小樽市 ▶ 60 km ▶ 1時間
丘珠空港 ▶ 20 km ▶ 30分	旭川市 ▶ 126 km ▶ 1時間30分
新千歳空港 ▶ 59 km ▶ 1時間	帯広市 ▶ 190 km ▶ 2時間50分
石狩湾新港 ▶ 24 km ▶ 35分	

人口 16,470人 (H29.4.1現在)

面積 422.86 km²
(横浜市437.8km²、宇都宮市416.8km²)

気候 最高気温: 32.0℃
最低気温: -17.0℃ (H26年度)

当別町

生涯活躍のまちづくりに取り組む意義

今後のまちづくりを進める上で、人口減少や高齢化といった大きな課題を抱えている。町の特性を活かしたまちづくりの視点として、①定住促進（人口流出の防止）、②高齢化しても健康で長生きを続けられる環境整備、③近隣からの住み替えも含む移住者の更なる獲得、の3点が重要であり、「生涯活躍のまち」構想に取り組むことは有効な方法である。

期待される効果

- アクティブシニアの転入増加
- 多世代交流による定住促進
- 健康寿命延伸の取り組み進展
- 地域が抱える課題の解決
- 経済波及効果、町財政への貢献 等



スウェーデンヒルズ

当別町の地域資源の可能性

- 札幌市との近接
- 社会福祉法人と地域連携による多世代共生コミュニティが形成
- 北海道医療大学との包括連携
- CCRCの発想が組み入れられたスウェーデンヒルズ地区

当別町の地域資源の数々

ポイント 1

札幌市と隣接しており、JR学園都市線やふれあいバスが通るなど、交通アクセスに優位性を持っている。



ポイント 2

医療大学や社会福祉法人等とともに、高齢者、障がい者、子どもたちなどあらゆる町民を巻き込んだ共生型の福祉活動が実施されている。



ポイント 3

町の基幹産業は農業。旬の野菜が買える道の駅（平成29年9月完成予定）があり、豊かな農産物、食の魅力を楽しめる。



ポイント 4

都市の利便性を享受しながら、豊かな自然環境を実感できる。北海道の四季を肌で感じ、ゆったりとした生活ができる。



目指す生涯活躍のまちづくり

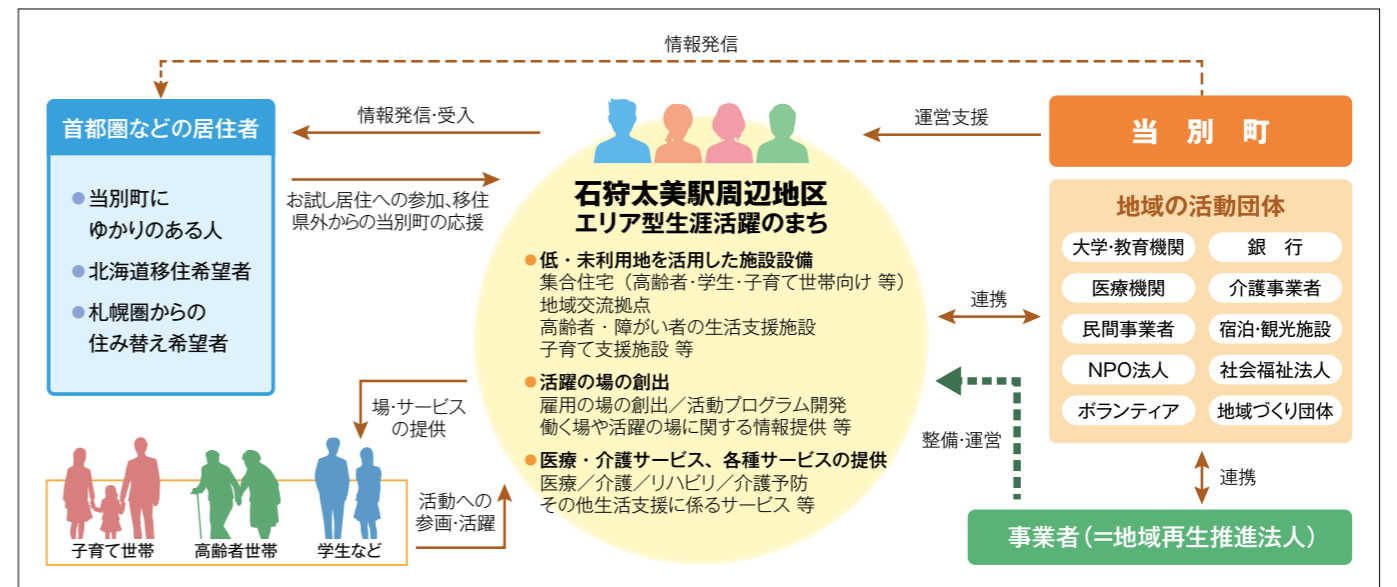
- | | |
|----------------------|---|
| 1 当別町西部地区のまちづくり | 太美地区の利便性向上、駅周辺を中心とするにぎわいの創出、新たな雇用の創出や子育て・居住環境の向上、地域コミュニティの活性化 |
| 2 多世代共生のまちづくり | 多様な世代の定住を促進し、移住者と地元との交流の仕組みを設けることで、ともに支え合う共生型の地域づくり |
| 3 生涯安心して健康に暮らせるまちづくり | 地域包括ケアシステムの進展、地域の医療・福祉サービスの一層の底上げと、安心して暮らし続けられる環境づくり |

生涯活躍のまちの展開イメージ

コンセプト

「多世代共生・参加型のまちづくり～当別町生涯活躍のまち～」
（副タイトル：「太美地区の低・未利用地活用と官民連携による生涯活躍のまち」）

石狩太美駅周辺地区では、集合住宅、地域交流拠点、高齢者や障がい者向けの生活支援、子育て支援施設などの整備を行う「エリア型生涯活躍のまち」を展開する。



ターゲット

- 多世代：アクティブシニア、子育て世代、学生、医療大OB等
- 年齢：アクティブシニアは60歳以上。
- 主には首都圏からの移住。子育て世帯等は、近隣市町からの転居も想定。
- 規模、目標設定：200人程度